

砺波総合病院
から

核医学科
絹谷 啓子
放射線技術科
出村 智朗

市立砺波総合病院
☎32-3320

病院のホームページもご覧ください。

核医学検査 (PET検査)について

みなさんは核医学検査をご存知でしょうか？

「核」という言葉を聞いて核爆弾や核融合を思い出し、怖いイメージをお持ちではないでしょうか？

核医学検査とは、レントゲン検査、CT検査と同じように病院の放射線の検査のひとつです。

レントゲン検査、CT検査は、エックス線という放射線を使って検査を行います。核医学検査はガンマ線と呼ばれる放射線を出す放射性同位元素を使って検査を行います。

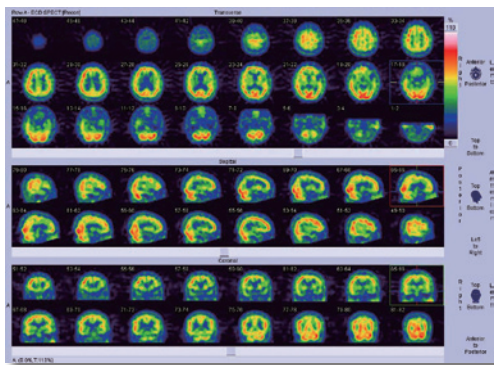


写真1

核医学検査は、人体にガンマ線を出すラジオアイソトープと呼ばれる薬を静脈注射して、ベッドに寝ている状態で写真を撮ります。写真を撮るのにかかる時間は20〜30分程度です。静脈注射をしたラジオアイソトープは、臓器や病変部に取り込まれます。ラジオアイソトープから出てくるガンマ線を写す装置をガンマカメラと呼んでいます。

核医学検査の特徴としては、レントゲン検査、CT検査のように臓器の形を診るだけでなく、例えば脳の血流や心臓、腎臓の働きなど臓器の機能を診ることもできます。核医学検査に用いる薬には、副作用はほとんどないので安心して検査を受けることができます。

1990年から当院で核医学科がスタートして、今年2月で2回目のガンマカメラの更新をしました。

そこで、この春当院に備わった新しいガンマカメラの主な特徴と検査内容について簡単に説明します。

新しい各医学装置の特徴

- ・ガンマカメラは高感度のもとなり、画質の向上、また検査時間の短縮にもつながります。

- ・検査を受ける人に合わせた撮影が可能で、座った状態やベッドのまでの撮影ができます。

- ・ガンマカメラ本体の空間が広がり、閉所恐怖症の方でも安心して検査が行えます。

主な検査

- ・頭部検査：主に脳の血液の流れ（脳血流）を調べることができます。
- ・脳梗塞や痴呆を診断および、パーキンソン病の有無も調べたりします。（写真1）
- ・骨検査：骨折・炎症・骨転移などを調べます。（写真2）
- ・心臓検査：心筋梗塞・狭心症などを調べます。（写真3）

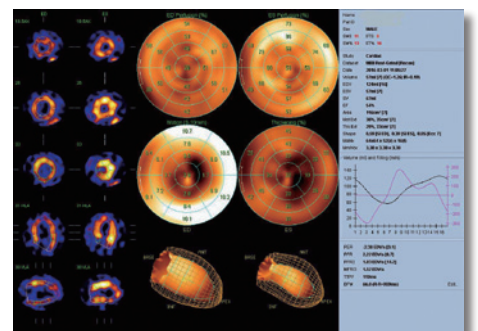


写真2

おわりに

核医学検査に使用する薬は時間とともに減りゆくので、一定の時間が経過すると使用できなくなります。

基本的に予約制で検査を行なっておりますが、時間厳守で検査をしなければなりません。

今後とも市民の皆さんにご理解ご協力をいただき、患者さんにやさしく正確な医療の提供を目指し、日々努力していくこととスタッフ一同考えております。

もし疑問点や気になることがあれば、お気軽にスタッフにお尋ねください。



写真3